

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(1/3)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
1 F 敷地沖合10km付近(T-B3)	カナガシラ(筋肉)	2023/2/10	< 2.8E+00	< 3.1E+00	ND
1 F 敷地沖合10km付近(T-B3)	ショウサイフグ(筋肉)	2023/2/10	< 3.8E+00	< 3.1E+00	ND
1 F 敷地沖合10km付近(T-B3)	スズキ(筋肉)	2023/2/10	< 2.7E+00	< 3.8E+00	ND
1 F 敷地沖合10km付近(T-B3)	ヒラメ(筋肉)No.1	2023/2/10	< 3.2E+00	< 2.8E+00	ND
1 F 敷地沖合10km付近(T-B3)	ヒラメ(筋肉)No.2	2023/2/10	< 6.2E+00	< 4.2E+00	ND
1 F 敷地沖合10km付近(T-B3)	ホウボウ(筋肉)	2023/2/10	< 4.1E+00	< 3.8E+00	ND
1 F 敷地沖合10km付近(T-B3)	ホシザメ(筋肉)	2023/2/10	< 3.3E+00	4.0E+00	4.0E+00
1 F 敷地沖合10km付近(T-B3)	マガレイ(筋肉)	2023/2/10	< 3.7E+00	< 3.3E+00	ND
1 F 敷地沖合10km付近(T-B3)	ムシガレイ(筋肉)	2023/2/10	< 4.0E+00	< 4.3E+00	ND
2 F 敷地沖合10km付近(T-B4)	カナガシラ(筋肉)	2023/2/10	< 4.1E+00	< 3.2E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年)，Cs-137(約30年)
- ・不等号(<：小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
- ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
- ・ $○.○E±○$ とは、 $○.○×10^{±○}$ であることを意味する。
 (例) 3.1E+01は $3.1×10^1$ で31，3.1E+00は $3.1×10^0$ で3.1，3.1E-01は $3.1×10^{-1}$ で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(2/3)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	コモンカスベ(筋肉)	2023/2/10	< 3.5E+00	< 3.1E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	シヨウサイフグ(筋肉)	2023/2/10	< 3.9E+00	< 3.0E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	スズキ(筋肉)	2023/2/10	< 4.0E+00	< 4.4E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	チダイ(筋肉)	2023/2/10	< 3.8E+00	< 3.7E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	ババガレイ(筋肉)	2023/2/10	< 3.7E+00	< 3.1E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	ヒラメ(筋肉)No.1	2023/2/10	< 3.8E+00	< 3.9E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	ヒラメ(筋肉)No.2	2023/2/10	< 5.0E+00	< 5.0E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	ホウボウ(筋肉)	2023/2/10	< 3.6E+00	< 3.4E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	ホシザメ(筋肉)	2023/2/10	< 3.9E+00	< 4.0E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	マガレイ(筋肉)	2023/2/10	< 4.0E+00	< 3.5E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
 - ・不等号(< : 小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
 - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
 - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
 - ・ $0.0E \pm 0$ とは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は 3.1×10^{-1} で31, 3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(3/3)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
2 F敷地沖合10km付近(T-B4)	ムシガレイ(筋肉)	2023/2/10	< 3.5E+00	< 3.4E+00	ND
2 F敷地沖合10km付近(T-B4)	メイタガレイ(筋肉)	2023/2/10	< 4.1E+00	< 3.6E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
 - ・不等号(< : 小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
 - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
 - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
 - ・ $0.0E \pm 0$ とは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は 3.1×10^{-1} で31, 3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。